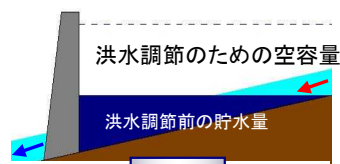


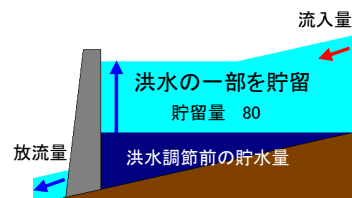
山瀬ダムの洪水調節効果【秋田県】（速 報）

ダムの洪水調節機能(イメージ)

平常時

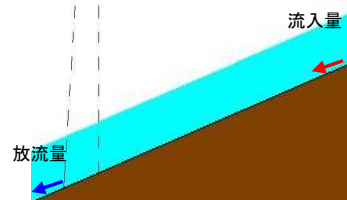


洪水時



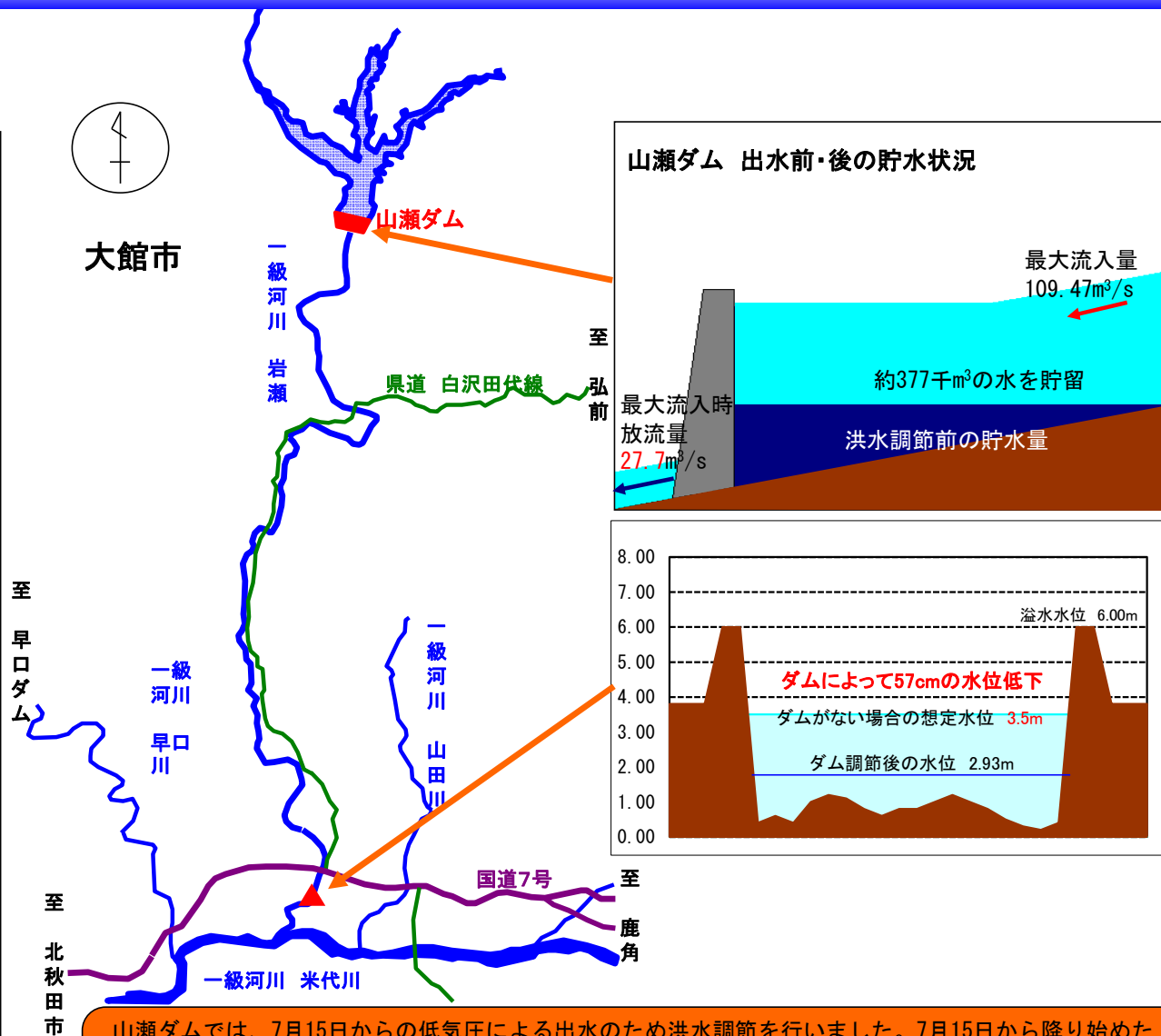
洪水時に、例えば200流れる水のうち80をダムに貯めダム下流には120だけ流します。

ダムがない場合

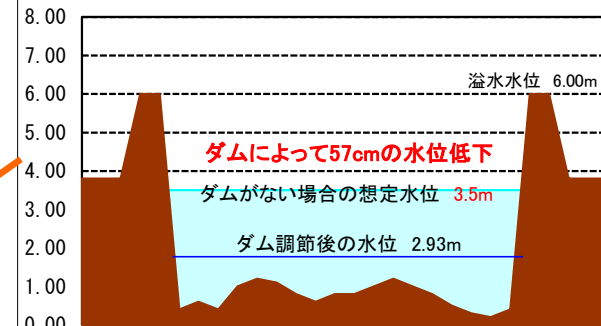
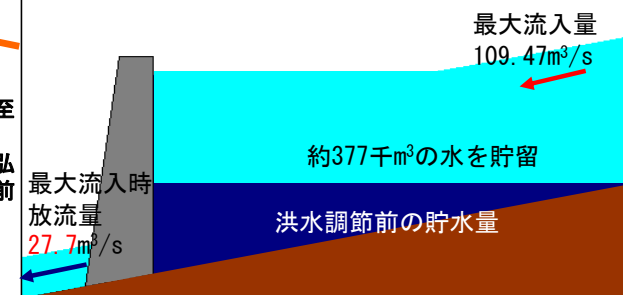


流れている200の水は、そのまま下流に流れていきます。

このイメージでは、ダム下流河川に流れる水量は60%になり、洪水被害を軽減します。



山瀬ダム 出水前・後の貯水状況



山瀬ダムでは、7月15日からの低気圧による出水のため洪水調節を行いました。7月15日から降り始めた雨は、最大時間雨量3mm、累計雨量は17mmとなり、最大流入量は109.47m³/sまで上昇しました。洪水調節量として約377千m³の水を貯留し、岩瀬川田代大橋水位観測局地点の河川水位を57cm下げました。

山瀬ダムの洪水調節効果【秋田県】（速 報）

別 紙

※今後の調査により数値等が変わる場合があります。

概要

山瀬ダムでは、7月15日からの低気圧による出水のため洪水調節を行いました。7月15日から降り始めた雨は、最大時間雨量3mm、累計雨量は17mmとなり、最大流入量は109.47m³/sまで上昇しました。洪水調節量として約377千m³の水を貯留し、岩瀬川田代大橋水位観測局地点の河川水位を57cm下げました。

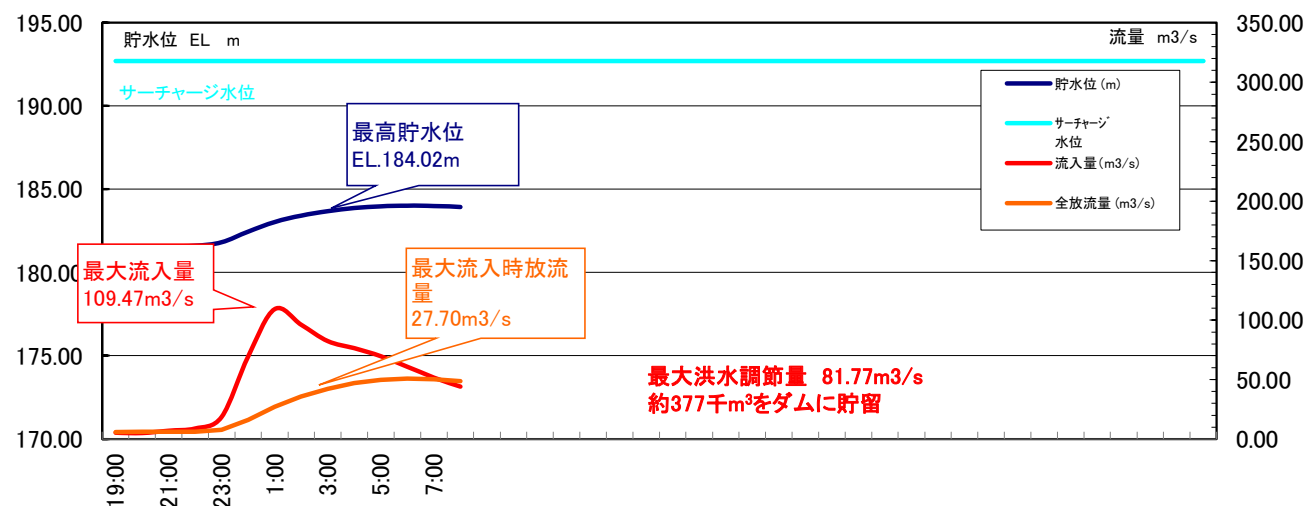
降雨の状況(山瀬ダム流域平均雨量)



気象レーダー（7月15日 23:00）



山瀬ダム 洪水調節の状況



山瀬ダム諸元

河川名	米代川水系 岩瀬川
形式	中央コア型ロックフィルダム
堤高	62.0m
堤長	380.0m
堤体積	1,625千m ³
集水面積	67.2km ²
湛水面積	0.94km ²
有効貯水量	10,900千m ³
サーチャージ水位	EL.192.70m
竣工年度	平成3年